

ゲームの秘密を探ろう 第 2 時

授業のながれ 生活とゲームの関係を考えよう

本時の目標

生活の中のゲーム時間を振り返り、自分の生活の中でのゲームの関わりかたを意識することができる。

ゲームの使い方が生活に与える影響について考えることができる。

本時のための準備

指導案、ワークシート、付箋紙、資料集



教科

年 組

指導者名

指導のアドバイス

前回の学習から時間が経過し意見が出ない時は、前回のワークシートを振り返ってみましょう。

ここは大切な問いです。今日は何を考える学習なのか、ゲーム時間が長くなるのがなぜ問題となるのか意識できるよう、問いを板書するといいでしょう。

グループをまわり、付箋紙に意見が書かれているか確認してください。教師の気がついたことを助言してもいいでしょう。誘導にならないように指導します。

・導入・ゲームのひみつ 本時のめあてを考える(5分)

今回は、ゲームの登場人物について考えましたね。

アクションゲームの登場人物はどんなふうに描かれていたか？

(予想される反応)

「やっつける人は強い、かっこよく描かれている」

「倒される人は弱い、かっこわるく描かれている」

現実との違いはどうでしたか？

(予想される反応)

「ゲームは規則がないから何をしてもいい」

「死んでも生き返る」「怖くないよう工夫されている」

「ゲームとほんとうの世界はしてもいいことが違う」

いろんな気づきがありましたね。

ところでゲームをしていると、困ることはありますか？

(予想される反応)

「時間が長くなること」「ずっと遊んでいたい」

時間という意見が多かったですね。

では今日は、生活の中でゲームとどのようにつきあっているのか、自分とゲームとの関わりを考えてみましょう。



・展開・・ゲームと生活を振り返ろう（35分）

では、グループに分かれてワークシートを記入してみましょう。気がついたことを話し合ってみましょう。意見は付箋紙に書いていきましょう。

話し合う例・

- 「1日にどのくらいゲームをしているか」
- 「平日と休日では違いがあるか」
- 「どんな時間帯にゲームをしているか」

では、グループごとに付箋紙をボードに貼っていきましょう。

（付箋紙の例）

- 「オンラインゲームは短い時間でちょっとずつ遊んでいる。
- 「遊ぶ時間がふえている」「みんなが一緒のとき、ゲームで遊ぶことが多い」「最近ではLINEのゲームで遊んでいる」
- 「帰ったらすぐゲームで遊んでいる」
- 「平日はそんなに遊んでいないけど、休みの日は多い」
- 「長い時間ゲームしている」「ゲーム以外することがない」

いろいろな気づきがありましたね。

では話し合った内容を、同じ意見ごとに付箋を整理してまとめてみましょう。

できたら、同じ意見ごとに題名をつけてみましょう。

（題名例） 内容、時間帯、友達との関係、LINE

このボードを見て、どんなことに気がつくますか？グループごとに意見をまとめてみましょう。

（予想される意見）

- 「ゲーム時間が思ったよりも長いと気がついた」
- 「ipodtouch やスマートフォンを買って遊び方は変わった」
- 「友だちと遊んでいるとルールを守れないことが多い、なぜだろう」

・まとめ・・ふりかえり（5分）

今日の学習で気がついたことを、ワークシートに記入しましょう

それでは、感想を発表してください。

指導のアドバイス

- 1・付箋紙に意見を書く。
- 2・付箋をボードに貼る。
- 3・付箋を整理する。
- 4・グループ分けをしながら課題を考える。



グループごとに題名を付ける。

上記を踏まえて、ゲームを考える視点、課題を考えていきます。

（先生が整理します）

付箋紙をグループ分けします。

グループをまわり、ゲーム時間の何が問題となるのか、声かけをしてください。

話し合う中で、生活とゲーム時間との関係を意識化させます。なぜ時間が長くなるのか、友達と一緒にだと遊び方がどう変わり、変わるのはなぜなんだろう、そこで何を考えなければいけないのか。子どもの言葉で気づかせたいです。なぜそう思ったの？というように、理由を聞いてみましょう。